

③ ^{よねざわおおつみ}米沢大堤 (新鶴村)

米沢はもともと山あいにある新しく開拓^{かいたく}された村でした。しかし、土地が高く、水を川からあげてくるのが大へんでした。そのため、当時、富塚屋敷^{とみづかやしき}とよばれていた所の西に大きな堤の工事が始められ、3年もの年月をかけて造られました。今からおよそ350年前のことです。

それから2回もの大がかりな修理の工事をして、多くの村々の田んぼをうるおす大きな堤として完成しました。東西約165メートル、南北約99メートルと新鶴村では大きな堤のひとつです。

しかし、昭和4年(1929年)5月、満水^{まんすい}の時期に堤の一部から水がもれ出し、とつぜんくずれてしまいました。流れ出した水による被害^{ひがい}は45ヘクタールにもおよびました。

その後また改修され現在にいたっています。



- ◆場所 新鶴村大字米田字平林 ◆堤の高さ 9.5m
- ◆堤の長さ 308m ◆受益面積 65ha
- ◆貯水量 129,000 m³